

盛岡市遺跡の学び館 平成20年度 館報



企画展「岩手・斯波の平泉文化」会場 2008.11.30

盛岡市遺跡の学び館

訃報

当市道跡ネットワーク整備委員会委員の福島大学名誉教授
工藤雅樹先生が平成22年1月29日ご逝去なされました。

先生は盛岡市ご出身で、市内の史跡・遺跡についての
調査指導をはじめ、文化財はもとより、アイヌ語地名など、
幅広く歴史・文化全般にわたって御指導を頂きました。

平成11年の委員就任以降、国指定史跡志波城跡をはじめ、
市内の史跡・遺跡の保護・活用について、また平成13年
度の遺跡の学び館建設準備段階、そして開館以降も館の
企画・運営、特に普及活用事業について多大なる御指導・
御助言を賜りました。

当市の文化財保護に対する工藤先生のご貢献に感謝し、
謹んでご冥福を折り、深く哀悼の意を捧げます。



在りし日の工藤先生
(2004.10.23：当館 特別講演会)

はじめに

盛岡市は南部盛岡藩の城下町として、また岩手県の県都として、多くの先人が築いた礎のもと、今日まで発展してきました。当市の目指すまちづくりは「人々が集まり、人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」をスローガンとし、また教育施策の基本理念の教育ビジョンでは、「ふるさとの文化の継承・創造・発信」を施策の柱としています。

そのような自然景観や歴史文化が維持され、「杜と水の都」として知られる盛岡市は、岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめ、市内をいくつもの清流が悠々と流れ、当館も雫石川南岸に広がる緑豊かな市中央公園の一角に位置しております。広大な公園内には岩手県立美術館・盛岡市先人記念館・盛岡市子ども科学館の博物館・美術館施設も設置され、近隣する原敬記念館を加え、周辺は美術・人物・科学・歴史とジャンルの異なる5施設が集まる名実ともに文化の継承・創造・発信のミュージアムゾーンとなっております。

当館は平成16年度に埋蔵文化財の調査・整理・収蔵を行なう埋蔵文化財センター機能と、出土品の展示や遺跡についての体験学習などが行なえる博物館機能を兼ね備えた施設として設置されました。

毎年、発掘調査は市内各所で実施され、20年度は約30カ所の遺跡で調査が行なわれました。特に大規模区画整理事業として平成4年度から実施されている盛南開発事業関連調査では、本宮・向中野地区の6遺跡12地点を対象に行なわれ、また民間開発・市公共事業及び個人住宅建築など、さまざまな要因による発掘調査（本調査・試掘調査）を含めると、平成20年度の調査面積は46,000㎡以上にも及びます。その調査成果は逐次、正式な報告書として刊行しますが、本書では速報として概要を紹介いたします。

また調査成果の公開・活用を行う学芸事業では、全県下を挙げて取り組んでいる平泉の世界文化遺産の関連テーマとして、「岩手・斯波の平泉文化」と題して企画展を開催いたしました。現在の盛岡市は当時の岩手郡・斯波郡に位置し、岩手郡の野川の地に安倍氏の拠点が置かれ、斯波郡には奥州藤原一門の樋爪氏が居住し、北から平泉を支えていたことが明らかとなってきております。近年その平泉との関連を示す居館群や村落跡、経塚など多くの遺跡や遺物が発見され、この地も平泉文化が色濃く浸透した地域であったことが判明しており、その最近の発掘調査成果資料を中心とした展示会を開催し、好評を博しました。

企画展のほかに、体験学習事業など多様な事業を展開し、おかげさまでもちまして20年度の総利用者総数は開館以来過去最高を記録いたしました。

これからも市民をはじめ、多くの皆様をお迎えできるよう、内容の充実を図りまして職員一同励んでいきたいと存じます。今後とも関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月

盛岡市遺跡の学び館
館長 武藤英富

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成20年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成20年度に当館が行った発掘調査の概略で、一部の遺跡については報告書刊行済みであるが、大半は今後別途刊行予定である。
- 4 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載についての例言は以下のとおりである。
 - (1) 遺構の平面位置は平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した。なお、座標は日本測地系を使用している。調査座標軸は第X系に準じる。座標原点は以下のとおりである。
・田貝遺跡 $X=-35,000.000$ $Y=+23,700.000$ (志波城跡の座標原点を使用)
 - (2) 高さは標高値をそのまま使用している。
 - (3) 土層図は堆積の仕方を重視し、線の太さを使い分けた。土層注記などは本文でふれる以外は割愛した。層相の観察にあたっては、『新版標準土色帖』（1994 小山正忠・竹原秀雄）を参考にした。
 - (4) 遺構記号は竪穴住居跡：RA、建物跡：RB、柱列跡：RC、土坑：RD、竪穴：RE、焼土遺構：RF、溝跡：RG、配石・築石遺構：RH、古墳など：RXとした。
但し、志波城跡の関連遺構である新堰端遺跡の溝跡については城構・城館の遺構記号に従い、「SD」とした。
 - (5) 本書に使用した地図は、『盛岡広域都市計画図1：10,000』、『盛岡市遺跡地図2008年版』ほかを縮小して使用。各遺跡の位置図のスケールは任意で、およそ1：15,000～1：20,000である。
 - (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

目 次

はじめに

例言 目次

I 沿革	1
II 施設概要	2
III 管理運営 条例・規則等 職員体制	4
IV 事業概要	
1 管理運営	5
2 学芸事業	7
3 埋蔵文化財発掘調査	14
○学術調査	16
○公共事業関連	17
○民間開発関連	20
○個人住宅建築等	21
報告書抄録	25

I 沿 革

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公園)を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

平成13年度は(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計及び展示構想策定業務委託、ボーリングによる地質調査を実施。建築基本設計は指名競争入札により業者を決定したが、展示構想策定業務についてはプロポーザル(書類審査)方式で行なうこととし、受託者選定委員会を開催し、業者を選定した。

平成14年度は建築実施設計・展示施設計画策

定業務委託・建築工事・土木工事を実施。9月26日から建築工事に着手し、14年度では全体の47%が完成した。展示施設計画策定業務委託では展示構想に基づき、展示室内における展示手法・演出方法等について検討し、展示施設製作に向けての方向性を策定した。

平成15年度は建設事業の最終年度にあたり、建築工事・展示施設製作・簡易リフト設置工事・敷地植栽工事・備品購入を実施した。建築工事は11月28日に完了し、12月下旬には津志田地内にあった「文化財室」(旧中央卸売市場事務所棟)から文化財調査資料整理作業の機能を移転し、当施設において作業を開始した。

展示施設製作は11月まで施工会社での模型や展示什器、各種演出に係る装置の製作を行い、11月の施設引渡しを受けて現地での組み立てに着手。各種グラフィックパネル等の製作を経て、翌年の2月25日に作業を完了。各種備品購入や機器取り付けも同3月までに完了し、施設名称を「盛岡市遺跡の学び館」と定め、平成16年6月1日に開館式典を挙行し、同日開館した。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成21年3月末	開館以来利用者数63,253人

3 事業費等

・建設事業費 677,123千円（国庫補助210,000千円・県補助105,000千円）

総事業費	677,775千円
建築設計委託	24,985
建築工事費	455,490
土木工事費	43,543
展示計画策定業務委託	8,820
展示施設製作業務委託	91,308
備品購入費	44,700
その他	6,909

建築設計	株式会社三衛設計舎
展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築主体工事	株式会社阿部正工務店
敷地造成工事	有限会社東北農林建設
電気設備工事	新興電機株式会社
給排水設備工事	有限会社門坂工業
機械設備工事	中央水道土木株式会社
地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
敷地植栽工事	株式会社やまいわ
簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

II 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋（一部重層）			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積 2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室（450.8㎡）、企画展示室（81.4㎡）、展示器材室			
	教育普及部門	研修室（117.0㎡）、図書資料室（47.7㎡）、図書室（66.3㎡）、体験学習室（70.9㎡）、研修機材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室（897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡）、特別収蔵室（46.5㎡）、写真収蔵室（27.2㎡）、図面収蔵室（27.2㎡）			
	調査整理部門	資料整理室（237.2㎡）、遺物洗浄室（37.1㎡）、写真撮影室（28.8㎡）、保存処理室（14.7㎡）			
管理部門	会議室（30.8㎡）、事務室（157.7㎡）、荷解室（24.5㎡）、休憩室（12.7㎡）				

【収蔵資料】

資料区分	細区分	内 容	点数
考古資料	調査資料 (完形品等)	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭 ・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約5,200点
	調査資料 (破片等)	・プラスチックコンテナ収納（土器・石器破片、骨角器、自然遺物含む）※大コンテナ503×700×397mm、小コンテナ387×586×142mm	大290箱 小15,000箱
	寄贈・ 寄託資料	・奥健夫氏寄贈考古資料 ・本松経家・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図 面	・図面（原因・第2原因・遺物実測図等）	約3,000枚
	写 真	・写真（モノクロ・カラーネガ：35mm、6×7、4×5） ・カラーズライド（35mm、6×7） ・デジタル画像（700MB：CD・DVD）	約130,000コマ 約44,000コマ 約150枚

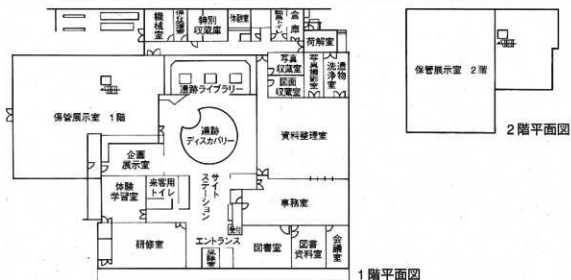
【業務の内容】

- ア 埋蔵文化財の発掘調査
- イ 発掘調査資料の整理
- ウ 出土品等調査資料の収蔵・展示及び活用
- エ 教育普及活動



【事業費】（平成20年度決算額）

事業名	事業費（決算額）	事業内容
管理運営事業	15,354千円	・施設設備の維持管理、遺跡ネットワーク整備委員会の開催経費等
学芸事業	3,939千円 （うち国補助1,624千円）	・企画展、体験学習会、学び館セミナー、資料管理システム製作等
盛岡遺跡群発掘調査事業	8,679千円 （うち国補助4,250千円 県補助1,700千円）	・個人住宅建築に係る事前調査及び指定史跡の内容確認調査等（発掘調査、資料整理及び発掘調査報告書の刊行）
埋蔵文化財調査事業	1,639千円	・公共事業（市道建設、下水道工事等）にともなう発掘調査
盛岡開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業	31,862千円 （うち国補助5,300千円）	・盛岡開発事業に係る発掘調査及び活用事業



外観



展示室（遺跡ライブラリー）

第1図 館内平面図・外観・内部写真

- (2) 戦後教育特別措置法（昭和38年法律第168号）第4条第1項の戦後教育手帳
 (4) 知的障害者教育手帳交付規則（昭和49年省令第57号）第2条の療育手帳
 3 第1項の規定にかかわらず、条例第8条第2号に規定する旨であることと
 する旨を旨とする旨の遺跡の学び館の展示室を個人で使用する目的の団体の
 申請書の提出については、当該書面の提示をもってこれに代えることができる。
 （使用料を減額する旨）
 第4条 条例別添第1号の表の療育2の規則で定める日は、毎月の第2土曜日
 及び第4土曜日とする。
 （原則と減額する旨）
 第5条 条例別添第1号の表の療育2の規則で定める中学校生徒及び小学校児童
 園は、市区域内に住所を有する中学校生徒及び小学校児童並びに住所の区域外
 に住所を有するまで市区域内にある中学校（以下中学校を含む。）及び小学
 校（以下小学校を含む。）に就学しているものとする。
 第6条
 この規則は、条例の施行の日（平成16年6月1日）から施行する。

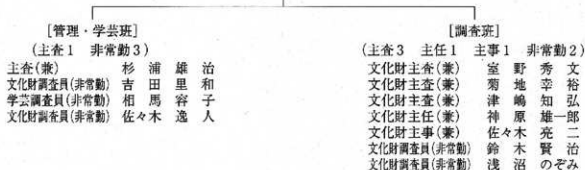
別表（第2条関係）

	区分	使用料	
		單位	金額
舞台設備	舞台（前金庫）	1台	390円
	演出（操作用）	1台	520円
	ステージ	1台	130円
音響設備	音響装置	1式	1,500円
	スピーカー	1式	260円
	マイクホン	1本	130円
	スライドプロジェクター（ケース付）	1式	390円
映像設備	マルチプロジェクター	1式	1,800円
	ビデオ一体型DVDプレイヤー	1台	390円
	テレビ	1台	260円
	映像編集機	1臺	2,600円
実習用設備	電卓	1台	390円
	手回し電卓	1台	130円
	グラインダー	1台	390円
	電動糸のこぎ	1台	390円
	卓上ボール盤	1台	390円
	鉛筆削り機	1式	390円
その他の設備	熱風用スクリュー	1台	130円
	レーザーポインター	1台	130円
	持込機器に係る電気使用料	1台	100円

備考 午前9時から午後5時まで使用する場合の使用料の額は、この表に掲げる額に2を乗じて得た額とする。

2 職員体制

館長(兼) 武藤 英 富
 館長補佐(兼) 佐藤 和 男



IV 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用のため、遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置、遺跡の学び館の開館を機に、当館の運営に関することについても所掌することになった。

【期 日】平成21年2月20日（金）14:00～15:30 【会 場】当館 研修室

【出席者】委員長 嶋 千秋（盛岡市文化財保護審議会委員）
 委員 工藤雅樹（福島大学名誉教授） 瀬川君雄（(株)東広社常務取締役）
 大橋文四郎（盛岡市小学校長会 岩手大学教育学部附属小学校副校長）

教育委員会 八巻恒雄教育長・
 武藤英富歴史文化課長兼
 遺跡の学び館長
 歴史文化課及び当館職員

【議 事】報 告 ・ 遺跡ネットワーク関連整備
 について
 ・ 平成20年度遺跡の学び館
 業務について
 協 議 ・ 平成21年度遺跡の学び館
 事業計画（案）について



月	入校料免除										入校料免除				入校料免除				入校料免除				入校料免除										
	入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除		入校料免除						
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額					
H20	129	0	15	145	3	7	94	2	7	14	6	15	143	293	199	0	136	0	0	1	0	146	147	288	578	578	14	221	92	0	903		
4月	2001	1600	397	397			82	1					82	1							138	2	216	3	138	2	216	3					
5月	177	7	35	222	1	14	59	0	2	16	21	114	330	496	134	620	0	0	1	44	19	64	94	1,020	1,020	7	520	128	0	1,258			
6月	105	79	16	7	209	0	49	157	0	13	16	6	9	282	468	278	201	479	0	0	0	215	221	700	1,159	2,796	2	554	64	46	1,954		
7月	118	144	16	2	280	2	4	87	17	3	6	7	10	136	418	276	107	383	0	42	42	1	5	7	42	820	3,614	1	407	182	0	1,834	
8月	354	27	1	44	431	3	36	47	2	0	79	17	197	80	618	296	0	296	0	0	1	42	0	43	339	497	4,571	5	448	46	0	1,473	
9月	126	16	92	1	225	1	31	44	0	11	26	5	122	357	162	237	999	0	0	0	13	225	208	637	944	5,655	21	639	51	0	1,734		
10月	69	12	19	7	107	24	7	20	0	7	13	11	13	95	202	218	13	231	0	0	1	16	138	147	366	590	3,155	7	288	208	511	1,582	
11月	208	0	17	3	228	2	15	149	9	3	17	6	133	421	117	0	117	0	0	0	16	15	31	148	890	8,724	14	161	108	30	992		
12月	102	92	10	0	204	1	6	41	1	2	8	3	65	269	29	41	70	0	0	2	16	24	42	112	361	7,105	17	156	27	25	645		
H21	241	4	23	0	296	2	9	298	0	0	23	4	122	540	168	29	195	0	0	0	4	4	0	4	199	739	7,844	11	346	203	20	1,319	
1月	100	67	4	2	173	3	25	21	16	1	5	10	1	82	235	16	0	16	0	0	0	3	2	5	21	276	8,120	6	31	197	26	506	
2月	86	1					20	1					86	1																			
3月	85	27	18	1	131	4	43	123	1	0	6	7	5	191	322	26	0	29	0	0	1	22	0	23	51	373	8,403	7	67	176	0	623	
計	1,814	476	390	31	2,230	46	246	1,378	29	43	223	115	67	1,659	4,469	2,278	792	2,950	0	42	42	14	719	789	992	4,004	8,493	7,868	111	3,061	1,082	718	14,795
	398	9					65	3	198	8	0	0	0	799	20				0	0	0	74	2	655	10	120	27	2,071	47				300

(注1) 団体旅行費にコンベンション料を含まず。(注2) 海外旅行には主催旅行のうち、出国費用や現地滞在費、別荘料を利用している行程を指します。
(注3) 20年・4年費とは、施設を借り市内8区のうち、2年または4年費を利用できる共通費です。

表1 平成20年度 盛岡市道路の学び館利用者数

2 学芸事業

今年度、当館主催の学芸事業としては企画展示室においてテーマ展・企画展、調査資料展を開催したほか、学び館考古学セミナー（全5回）、市民参加による体験学習会（全5回）、夏休み・冬休み期間中の個人体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、学び館特報や普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行なった。

これら、各種展示普及活用事業及び常設展示室整備・資料管理システム整備には市費のほか、埋蔵文化財保存整備活用事業（文化庁補助）及び国土交通省まちづくり交付金を活用した。

【展示会】

タイトル等	テーマ展 「縄文のかたち」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成20年7月1日(火)～平成20年11月3日(月)	来場者数	3,350名
展示構成	縄文中期の深鉢形土器、晩期の注口土器、壺形土器、浅鉢形土器、石器類、遮光器土偶、土製品、石製品、装身具	展示資料数	152点
概要	縄文時代中期の土器のかたちをテーマに「躍動」「重厚」「勇士」「華麗」そして「装い」「機能美」を追求した。		
作成資料	展示資料一覧		

タイトル等	第7回企画展 「岩手・斯波の平泉文化」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成20年11月11日(火)～平成21年2月1日(日)	来場者数	1,464名
展示構成	I 平泉前史～前九年・後三年合戦～、II 都市平泉とその文化、III 岩手・斯波の平泉文化、IV 文治五年奥州合戦と鎌倉幕府の支配		
概要	前九年・後三年合戦の後、奥羽の統治者となった藤原清衡は、陸奥の中心地平泉に中尊寺を建立し、浄土思想に基づく平和国家を目指した。現在の盛岡市は当時の岩手郡・斯波郡に位置し、岩手郡の厨川の地に安倍氏の拠点が置かれ、斯波郡には奥州藤原一門の種瓜氏が居住し、北から平泉を支えていたことが明らかとなっている。近年、その平泉とその関連を示す居館群や村落跡、経塚など多くの遺跡や遺物が発見されており、この地も平泉文化が色濃く浸透した地域であったことが判明している。今回は最近の発掘調査成果を中心に紹介し、平泉文化を身近に感じていただくために実施した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示資料一覧		

タイトル等	第26回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘するー平成20年度調査速報ー」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成21年2月11日(水)～平成21年5月17日(日)	来場者数	1,847名
展示遺跡	猿V遺跡(第36次)、大館町遺跡(第81・82次)、山王山遺跡(第12次)、台太郎遺跡(第63次)、みたけ遺跡(第1次)、志波城跡(第102次)		
概要	平成20年度に市内で発掘された遺跡の速報として、出土遺物や写真・解説パネル等で展示公開した。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展チラシ



企画展チラシ



資料展チラシ

【講演会】(企画展関連)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成20年11月30日(日) 13:30～15:30	第7回企画展特別講演会「身近にある平泉の文化遺産」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター所長 相原康二氏	89人

第7回企画展「岩手・斯波の平泉文化」の関連特別講演会として開催した。相原氏には岩手県内から発見された12世紀の陶磁器などの遺物を中心に、藤原氏の勢力範囲や絶対平和・平等社会を築いた都市平泉の姿を解り易く解説していただいた。高校生が聴講するなど、定員を上回る参加者を数え、平泉に対する関心の高さを窺うことができた。

【遺跡の学び館考古学セミナー】

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成20年5月25日(月) 13:30～15:00	第1回「縄文土器の地域性ー縄文時代早期の土器を中心にー」 当館職員 神原雄一郎 文化財主任	35人
平成20年7月27日(日) 13:30～15:00	第2回「中世戦国の城館とその社会ー城館からみた室町・戦国期の岩手郡・志和郡ー」 当館職員 室野秀文 文化財主査	47人
平成20年9月21日(日) 13:30～15:00	第3回「縄文のかたち」 当館職員 相馬容子 学芸調査員	29人
平成21年1月25日(日) 13:30～15:00	第4回「経塚の系譜」 当館職員 佐々木亮二 文化財主事	43人
平成21年3月1日(日) 13:30～15:00	第5回 平成20年度調査成果報告会(市内7遺跡) 当館職員 菊地幸裕 文化財主査、神原雄一郎 文化財主任、 佐々木亮二 文化財主事	86人

当館職員が調査や研究の成果などを市民に紹介するもので、本年度はこれまでの発掘調査の成果やテーマ展・企画展に即した内容で解り易く解説した。5回目は、「第26回埋蔵文化財調査資料展 盛岡を発掘する 平成20年度調査速報」に合わせて、本年度の発掘調査の報告会を開催し、各遺跡の最新成果について担当職員が発表した。



テーマ展「縄文のかたち」



企画展「岩手・斯波の平泉文化」



第26回埋蔵文化財調査資料展



考古学セミナー

【体験学習会】（会場は当館体験学習室、ただし第1回の発掘調査体験は大館町遺跡、第5回の調理体験は都南公民館にて実施）

開催日	タイトル・講師	参加者
平成20年6月15日(日) 13:30～15:30	第1回「考古学者になってみよう」発掘調査体験（親子） 会場：大館町遺跡 対応：当館職員・サポーターズクラブ	46人
平成20年7月13日(日) 13:30～15:00	第2回「石器をつくる」（高校生以上） 講師 当館職員	10人
平成20年9月7日(日) 13:30～16:30	第3回「縄文土器をつくってみよう」（親子） 講師 当館職員	28人
平成20年11月2日(日) 13:30～15:30	第4回「コハクで勾玉をつくってみよう」（親子） 講師 佐々木和久氏（久慈琥珀博物館長）	16人
平成20年12月14日(日) 13:30～15:30	第5回「古代食をつくってみよう」（親子） 講師 梅津木了先生（料理研究家）	25人

第1回の発掘調査体験、第3回の縄文土器づくりは定番メニューとして好評であったが、第2回の石器づくりは高校生以上対象の体験学習として公募し、大人だけの参加者で開催された。高度な技術を要する内容が逆に受講生には満足度が高く好評であった。第4回の勾玉づくりは、昨年度に続き、久慈琥珀博物館の佐々木館長の琥珀に関する講話から始まり、好評を博した。

【個人体験学習会】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
夏休み個人体験学習会	平成20年8月5日(火)～8月17日(日) :15日間 ①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～	メニュー：勾玉づくり・拓本づくり・ 土五彩色（有料）、火おこし（無料）	312人
冬休み個人体験学習会	平成21年1月6日(火)～1月18日(日) :12日間 ①10:00～ ②11:00～ ③13:30～ ④14:30～	対応：当館職員・サポーターズクラブ	342人

夏休みと冬休みの両期間において、学び館サポーターズクラブの支援を得て事前の予約不要で体験学習を行なうことが出来る機会を提供し、期間中、延べ654人の利用があった。



体験学習会「考古学者になってみよう」



体験学習会「コハクで勾玉をつくってみよう」



体験学習会「古代食をつくってみよう」



夏休み個人体験学習会「火おこし」



【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体のサポーターズクラブが発足して3年目を迎えた。本年度の会員数は14名となり、当館行事の体験学習事業への支援を中心に活動していただき、自主活動として会員研修旅行（研修先：さとはま縄文の里史跡公園・奥松島縄文村歴史資料館 期日：平成20年9月27日(土)参加者7人）の開催、サポーターズクラブ通信の発行などを行った。また1月8日(木)には谷藤裕明市長が各種市民団体等が活動している場所に直接出かけ、実際に活動を体験する「市長おでかけトーク」が開催され、火おこし・勾玉づくりを体験し、また懇談の機会も設けられた。



「市長おでかけトーク」



サポーターズクラブの活動(体験学習支援)



研修旅行

【みっけクラブ】

歴史や考古学に興味のある子どもたちに対して、遺跡や文化財について学び、体験する機会を提供するため、小・中学生を対象に募集を行い、年間を通じて体験学習プログラムに沿った活動を行なった。本クラブ名の「みっけ」とは、当館のマスコットキャラクターの愛称で、クラブは平成18年度から募集を開始し、本年度の会員は3期生となり、小学生10人を対象に活動を行なった。会員にはクラブイベントの「学び館を探検してみよう!」をはじめ、当館主催の体験学習会（考古学者になってみよう!縄文土器をつくってみよう!琥珀で勾玉をつくってみよう!）の先行案内を行ない、優先的に参加でき、かつ年度内有効の会員証を発行し、展示室使用料が免除となる特典がつくほか、クラブ独自のイベントも実施した。毎回応募者数が定員を超えるなど、人気が高く、会員の出席率も良好となっている。



みっけ



「古代食をつくってみよう」に参加した会員



夏休み研究発表

【もりとびあねっと】

「もりとびあねっと」（もりおかゆいとびあミュージアムネットワーク）は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・盛岡市原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間の連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行ない、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図るための企画を展開。平成20年度は「ぐるり☆もりとびあスタンプラリー」の開催、イベント内容を網羅したリーフレットの作成、隔月情報紙「もりとびあねっとだより」の刊行、関連事業として街づくり集団「ゆいネット盛南」主催事業への支援、地元S C施設を活用した講座・作品展及びPR事業などを行なった。



街づくり集団「ゆいネット盛南」の遺跡見学



リーフレット



展示・PR活動

【学芸関係刊行物】

件名	発行日	部数	販売の有無
第7回企画展図録「岩手・斯波の平泉文化」	平成20年11月11日	200部	600円
第26回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー平成20年度調査速報ー」解説パンフレット	平成21年2月11日	2,000部	無料配布
遺跡の学び館特報	平成21年3月31日	500部	無料配布
盛南地区の遺跡ー遺跡から見つかった出土品ー	平成21年3月30日	2,500部	無料配布

当館実施の発掘調査や展示会の成果を保存記録し、普及資料として広く公表するため、展示会図録、解説パンフレット及び関係機関や学校などに広報する「特報」などを作成。また「盛岡南新都市開発整備事業」(盛南開発)区域内の遺跡の分布や発掘調査成果を紹介するパンフレットを作成し、当該地域の説明会等で活用した。

【研修・実習受入】

開催日	件名	参加者
平成20年4月18日(金)	盛岡市教育委員会初任者(教員)研修	10人
平成20年8月5日(火)	平成20年度教職経験者10年研修の社会体験研修	1人
平成20年8月19日(火)~23日(土)	博物館実習(計5日間) (盛岡大学2名、岩手大学1名)	3人
平成20年9月9日(火)~12日(金)	インターンシップの受入(計4日間) (日本女子大学1名)	1人
平成20年11月7日(金)~12日(水)	市職員異職場体験(盛岡市職員 4日間)	3人

当館では、博物館実習をはじめ、各種研修・実習を積極的に受け入れることとしている。登録博物館としてのみならず、埋蔵文化財センターとしての機能について、実際の発掘現場調査の体験も含め、資料の調査・整理・保管・展示活用という一連の流れを体験できるメニューを作成している。

【講師派遣】

1 出前講座

開催日時	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成20年11月28日(金) 13:30～15:00	もりおかの遺跡～埋もれた先人たちの軌跡～ — 雫石川以北地区—大館町遺跡・安倍館遺跡など—	佐々木亮二 文化財主事	大新万青年会 (大新町公民館)	18人
平成21年1月18日(日) 14:00～15:30	もりおかの遺跡～埋もれた先人たちの軌跡～ — 仙北地区—	菊地幸裕 文化財主査	小鷹公民館	20人
平成21年2月15日(日) 14:40～15:30	もりおかの遺跡～埋もれた先人たちの軌跡～ — 北上川以东・都南地区— 「遺跡から見た乙部の歴史について」	佐々木亮二 文化財主事	境自治公民館 (境公民館)	20人

この制度は、盛岡市が市政に対する理解を深め、市民参加のまちづくりを推進するため、それぞれの担当部局の業務内容を中心に、職員を講師として無料で派遣するもので、20年度に当館では3件の依頼を受けて実施した。当館では市内の各地域に係る遺跡調査の成果を中心とした歴史講話を主体としてメニューを用意しており、地域の自治会行事のほか、学校・自主研修及び子ども会行事等で当館に来館できない場合など、出前講座として職員派遣を行なっている。

2 その他 講師・指導派遣

開催日時	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成20年6月7日(土) 9:30～12:00	「盛南歴史ウォーク」文化財遺跡見学解説	佐藤和男 館長補佐	街づくり集団 「ゆいネット盛南」	15人
平成20年8月6日(水) 9:45～12:30	盛岡市教育研究所第1回公開講座 「遺跡・文化財講座」	佐藤和男 館長補佐 室野秀文 文化財主査	盛岡市教育研究所	12人
平成20年8月14日(木) ～15日(金)	国史跡坂戸城跡城主館跡石垣試掘調査指導	室野秀文 文化財主査	新潟県南魚沼市 教育委員会	—
平成20年8月27日(水) 14:00～14:45	「南部氏ゆかりの場所を訪ねる—盛岡城跡公園での南部氏に関する解説—」	室野秀文 文化財主査	三戸町高齢者学級 寿教室	60人
平成20年8月30日(土) 8:40～14:30	「わくわくチャレンジふれあいの日」 校外活動 トレジャーハンター講師	佐々木亮二 文化財主事	盛岡市立手代森 小学校	65人
平成20年11月3日(月) 8:45～11:45	講演会「石器を作る」及び石器製作 の実演・石器づくり指導	神原雄一郎 文化財主任	宮古市教育委 (宮古市崎山貝塚)	15人
平成20年11月21日(金) 13:30～15:30	盛岡の歴史を語る会「歴史講座—最 近の発掘調査成果について—」	佐々木亮二 文化財主事	盛岡の歴史を語る 会(盛岡市総合福 祉センター)	80人
平成20年12月26日(水) 10:00～12:30	盛岡市教育研究所第2回公開講座 「遺跡・文化財講座」	佐藤和男 館長補佐	盛岡市教育研究所	12人
平成21年2月14日(土) 10:30～17:00	平成20年度町民総合大学文化遺産講 座—鳥海権と世界遺産・平泉文化—⑥ 「第六回安倍氏の櫓シンポジウム」	室野秀文 文化財主査	金ヶ崎町教育委員 会(金ヶ崎町中央 生涯教育センター)	約150人

【研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成21年1月14日(水) ～23日(金)	埋蔵文化財担当者専門研修 「報告書作成課程」	浅沼のぞみ 文化財調査員	独立行政法人国立文化財 機構 奈良文化財研究所
平成21年2月4日(水) ～8日(金)	平成20年度文化財等取扱講習会	相馬容子・ 佐々木進人 学芸調査員	財団法人岩手県文化振興 事業団岩手県立博物館

【関連業務会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	会 場
平成20年8月21日(木) ～22日(金)	平成20年度岩手県博物館等連絡協議会総 会・研修会	佐藤和男 館長補佐	御所野縄文博物館 (一戸町)

【寄贈及び購入図書】

形態	分野	内容	寄贈・購入冊数		計
			平成20年度以前	平成20年度	
発掘調査報告書			11,440	791	12,231
一般図書	考古学	概説書など	148	3	151
	歴史学	日本史・郷土史など	69	24	93
	民俗学	民具・民俗芸能など	3	1	4
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	25	5	30
	自然科学	動植物など	1	0	1
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	7	13	20
	その他	辞典・事典など	6	0	6
資料集	図録・解説書・パンフレット・レジュメなど	979	67	1,046	
全集	3冊以上	343	37	380	
論集	論文集など	33	0	33	
通史	市町村史	236	0	236	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	2,737	156	2,893	
計		16,027	1,097	17,124	

埋蔵文化財センターとして、全国各地の遺跡発掘調査報告書および歴史関連書籍や論文集、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に収集し、公開も行なっている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料家に収蔵のうえ、受付に申し込んで閲覧できる図書に区分している。

【収蔵資料管理システム】

当館内に展示・収蔵されている出土遺物・記録類について、その情報の管理を一元化し、検索・集計・編集・出力等の業務支援システムを構築し、17年度から国庫補助事業（埋蔵文化財保存活用整備事業）を活用して進めている。本年度は全体計画の4年目にあたり、調査成果の入力作業を継続し、データの逐次更新を行なった。

【常設展示室の更新・整備】

サイトステーション内のタイムスケールバー（年表）表示において、旧玉山村（現盛岡市玉山区）及び県内の市町村合併により、遺跡の所在市町村名の変更が生じ、また時代区分の変更、県内主要遺跡名の追加のため、パネル表示置換えを行なった。

【現地説明会】

開催日時	遺跡名（所在地）	聴講者
平成20年11月29日(土) 13:30～14:30	繁V遺跡第36次調査現地説明会（繁字藩市地内）	70人

前年度から継続調査を実施してきた学校改築工事に伴う緊急発掘調査の2ヵ年目で、遺跡の概要が明らかになったことから、現地での説明会を開催した。遺構は縄文時代中期の竪穴住居跡13棟、土坑51基及び竪穴住居跡の床下から「伏婁」と呼ばれる土器を逆さに埋めた特殊な遺構が5基確認された。国指定重要文化財を出した遺跡として市民の関心度も高く、70名の見学者が訪れた。

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
「みたけ遺跡一宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書」	平成20年12月26日	100部	公的機関に配布
「川目A遺跡-国道106号線改良に伴う市道建設関連発掘調査報告書」	平成21年3月31日	400部	1,100円

3 埋蔵文化財発掘調査

平成20年度に市教育委員会が実施した発掘調査は試掘調査19件、本調査20件で、遺跡の学び館では33件の調査（試掘調査・本調査：表2参照）を担当した。内訳は史跡の学術調査2件、大規模区画整理事業関連調査が12件、市道建設・下水道及び学校増改築工事に伴う調査が3件、宅地造成等

表2 平成20年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧

（※遺跡の学び館調査分）

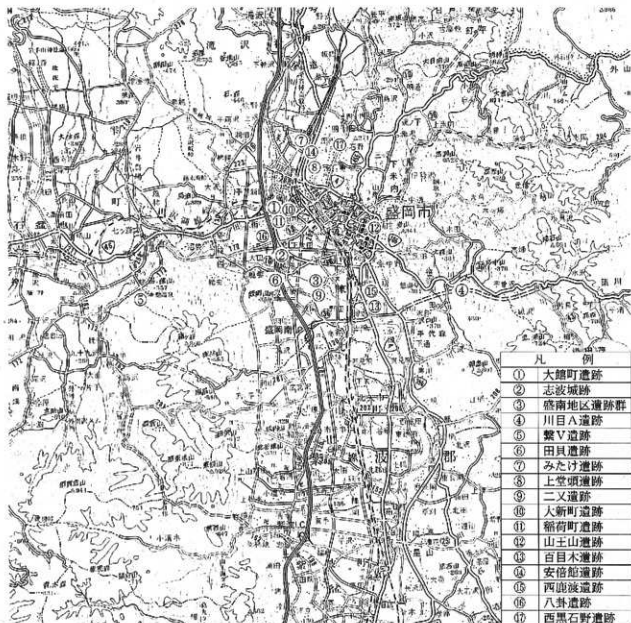
No.	遺跡名	次数	所在地	調査事由	調査期間	調査面積 (㎡)	遺構・出土品
1	岩手県指定史跡 大新町遺跡	81	大新町212	学術調査 (史跡内容確認)	6/10~11/28	330	縄文時代中期竪穴住居跡10棟、土坑群78基、 古代以降の溝跡1条、遺物（縄文土器・石器・ 土製品など）
2	国指定史跡 志波城跡	102	下太田方八丁21ほか	学術調査（史跡 盛衰に係る遺構 内容確認）	10/14~11/21	1,780	A区東宮跡：近世以降の溝跡1条、溝状遺 構1条、B区政府庁舎：平安時代竪穴建物跡 1棟、土坑2基、遺物（平安時代の須恵器 ・土師器ほか（コンテナ1箱）
3	細谷地遺跡	21	向中野字野原31-3 ほか	土地区画整理	4/22~5/19	6,759	時期不詳溝跡1条、土坑7基、遺物なし
4	小幡遺跡	23	木野字小幡79-7ほか	土地区画整理	5/26	403	遺構・遺物なし
5	飯岡沢出遺跡	12	飯岡新田第1地割46-2 ほか	土地区画整理	6/3~6/16	1,242	時期不詳溝跡3条、ピット10口、遺物なし
6	矢盛遺跡	21	飯岡新田第4地割3ほか	土地区画整理	6/16~6/20	160	時期不詳溝跡2条、ピット11口、遺物なし
7	台太郎遺跡	62	向中野字中野40-7 ほか	土地区画整理	6/18~7/9	862	時期不詳土坑1基、ピット66口、遺物なし
8	台太郎遺跡	63	向中野字中野17-1 ほか	土地区画整理	7/3~10/31	1,412	奈良時代竪穴住居跡2棟、竪穴遺構1基、 溝跡5条、土坑4基、ピット約30口、遺物 (土師器・須恵器・陶磁器・古銭など)
9	矢盛遺跡	22	飯岡新田第2地割24-3 ほか	土地区画整理	7/28~8/1	1,720	時期不詳土坑3基、遺物なし
10	夕雲遺跡	3	飯岡新田第6地割69-1	土地区画整理	10/23	181	遺構・遺物なし
11	台太郎遺跡	64	向中野字向中野21-2	土地区画整理	11/19~12/12	621	時期不詳土坑1基、遺物なし
12	細谷地遺跡	22	向中野字野原20-13 ほか	土地区画整理	11/14~11/20	22,084	時期不詳溝跡1条、遺物なし
13	細谷地遺跡	23	向中野字野原27-8 ほか	土地区画整理	11/5~12/12	1,784	時期不詳土坑4基、溝1条、遺物なし
14	夕雲遺跡	4	飯岡新田第3地割38-2 ほか	土地区画整理	11/28, H21.1/15	264	遺構・遺物なし
15	川目入遺跡	7	川目第5地割地内	市道改良工事	8/22~9/8	37	遺構・遺物なし
16	紫V遺跡	36	紫V遺跡山114-1	小学校校舎増改 築	9/25~12/26	2,480	縄文時代竪穴住居跡13棟、土坑51基、柱穴27口、 遺物（縄文土器・石器等）※21年度調査調査
17	田川遺跡	11	上飯田街59-2ほか	下水道工事（汚 水管敷設）	10/9	17	志波城跡関連溝跡1条、遺物なし
18	みたけ遺跡	1	みたけ2丁目469-1 ほか	土地売買	4/14~6/5	2,300	縄文時代竪穴住居跡5基、縄文早期~前期 の遺物包含層、板敷状遺構（近現代）1基、 遺物（縄文時代早期~前期の土器・石器）
19	上堂遺跡	8	上堂4丁目9-1ほか	宅地造成	10/7~10/9	394	縄文時代土坑13基
20	福寿町遺跡	25	大船町322-1ほか	共同住宅建築	10/10~10/14	467	遺構・遺物なし
21	又二遺跡	8	下飯岡第1地割40-1 ほか	個人住宅建築	4/13	73	遺構・遺物なし
22	紫V遺跡	35	紫V遺跡市75-1	住宅建築工事	5/13~5/28	16	縄文時代遺物包含層（早期・前期）
23	大新町遺跡	80	大新町17-15	個人住宅建築	6/2~6/4	32	縄文時代竪穴住居跡1基、遺物（縄文土器）
24	船岡町遺跡	24	船岡町13-19	個人住宅建築	6/10	21	遺構・遺物なし
25	山王山遺跡	12	山王町64-1	個人住宅建築	7/15~9/3	164	平安時代竪穴住居跡3棟、遺物（土師器・須 恵器・鉄銭）
26	百目木遺跡	29	三本柳第5地割41-9	個人住宅建築	8/29	57	平安時代竪穴住居跡2棟、近世以降の竪穴1基、 遺物（須恵器大甕、あかやき土器、土師器）
27	志波城跡	101	下太田町出14-2	個人住宅建築	9/8~9/19	126	平安時代の土坑1基、中世以降の溝跡2条、 土坑1基、柱穴5口、遺物（土師器・須恵器、 あかやき土器・破片）
28	大船町遺跡	82	大新町10-13ほか	個人住宅建築	10/15~10/31	62	縄文時代竪穴住居跡6基、貯蔵穴5基、土器 埋成穴2基、遺物（縄文土器・石器）
29	安倍船遺跡	87	安倍船町211-6ほか	個人住宅建築	10/20	40	遺構・遺物なし
30	百目木遺跡	30	三本柳第5地割41-8	個人住宅建築	11/7	18	遺構・遺物なし
31	西庭渡遺跡	22	三本柳第2地割16-35	個人住宅建築	3/18	77	平安時代竪穴住居跡3棟、土坑1基、遺物 （平安時代の土器）
32	八井遺跡	16	中太田八井9-8	個人住宅建築	3/23	20	遺構・遺物なし
33	西黒石野遺跡	13	黒石野2丁目28-2	個人住宅建築	3/25	20	遺構・遺物なし
				計		46,023	

民間開発による調査が3件、個人住宅建築等に伴う調査が13件で、調査総面積は46,023㎡となっている。その多くは盛岡南新都心開発整備事業（盛南開発）関連調査で、6遺跡12地点で実施され、調査面積は37,492㎡で全体の8割以上を占める。また地域的には本宮・向中野を含む太田地区と都南を含む飯岡地区が20カ所と半数以上を占め、他に野川地区8カ所、築川地区2カ所、繁地区2カ所、上田地区1カ所となっており、玉山区内での試掘・本調査は20年度は実施されていない。

近年の状況として、盛南開発等の公共事業を除き、一般の建築確認件数の減少に伴い、個人住宅建築を含む民間開発関連調査も減少傾向にあることが窺われる。

主な成果としては、縄文時代中期の集落跡である紫V遺跡第36次調査及び大館町遺跡第82次調査、奈良・平安時代の集落跡である台太郎遺跡第63次調査、西鹿渡遺跡第22次調査等で遺構・遺物が検出され、また今まで状況が掴めていなかった野川地区のみたけ遺跡の遺構・遺物の発見は特筆される。

試掘調査の成果は一覧表での記載に留め、遺構・遺物が検出された発掘調査（学術調査を含む）を主体に記述した。



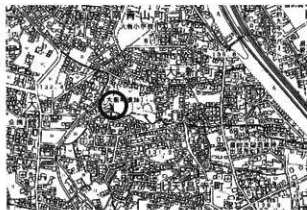
第2図 平成20年度調査遺跡位置図 (S=1:200,000)

○学術調査

(1) 大館町遺跡第81次調査

- 1 調査地 盛岡市大新町212
- 2 調査事由 県指定史跡の学術調査（詳細調査）
- 3 調査方法 全面調査
- 4 調査期間 平成20年6月10日～11月28日
- 5 調査面積 330㎡
- 6 調査員 神原雄一郎 鈴木賢治
- 7 確認遺構 縄文時代中期竪穴住居跡10棟、土坑群78基、古代以降の溝跡1条
- 8 出土遺物 縄文時代中期の土器・石器・土製品（コンテナ10箱）
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、雫石川北岸の火山灰砂台地に立地。第81次調査は、史跡指定範囲の西端部に位置し、調査は竪穴住居跡・土坑・遺物包含層の境界範囲を確認する目的で実施した。調査区は平成4年度に実施した第45次調査区の南西側に設定。集落中央から南西方向に傾斜している緩斜面において、表土除去後、調査区内全域で土坑が密集して分布している状態を確認した。土坑の検出面上に土製品（ミニチュア土器・板状土偶他）や、石棒（直径14cm・長さ62cm）が直立した状態で確認された。土坑群の平面形はほとんどが楕円形で、土坑墓と考えられ、時期は縄文時代中期中葉の大木8b式期（約4,500年前）頃と推定される。

竪穴住居跡と推定されるプランは10棟確認されている。うち1棟を詳細確認のため精査を行ったが、規模は6m×3.5mの楕円形で、時期は周辺で確認されている竪穴住居跡群のうちでは最も新しい縄文時代中期後葉の大木9式期（約4,500年～4,000年前）に比定され、それ以外は中期中葉の大木8b式期（約4,500年前）頃と推定される。また古代以降の溝跡も確認されているが、下辺まで攪乱が及んでおり、時期は特定できていない。なお第81次調査の詳細な成果については「盛岡市内遺跡群—平成20・21年度発掘調査報告—」（平成22年度）に刊行予定である。



大館町遺跡第81次調査区位置図



調査区全景



遺構の確認状況



石棒の出土状況

(2) 国指定史跡志波城跡第102次調査

- | | | | |
|--------|---------------|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下太田方八丁17ほか | 2 調査事由 | 学術調査（遺構確認調査） |
| 3 調査方法 | 全面調査 | 4 調査期間 | 平成20年10月14日～11月21日 |
| 5 調査面積 | 1,780㎡ | 6 調査員 | 室野秀文 |
- 7 検出遺構 A区東宮街城：近世以降の溝跡1条、溝状遺構1条、B区政庁北側：平安時代堅穴状遺構1棟、土坑2基
- 8 出土遺物 平安時代の須恵器壺・土師器坏ほか（コンテナ1箱）
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、北上川と平石川で形成された低位沖積段丘面に立地。昭和51年度以降の緊急調査や学術調査により、遺跡の範囲・規模などの基本的構造が明らかになり、その重要性から昭和59年に国史跡に指定。今次調査は政庁東側の東宮街城北部（A区）及び政庁北側（B区）の2地点で実施。B区からは同期の遺物を伴うが、カマドを持たない堅穴建物跡が確認されている。



志波城跡第102次調査区位置図



調査区全景

○公共事業関連（市公共工事関連）

(1) 繫V遺跡第36次調査

- | | | | |
|--------|--------------|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市繁字館市114-1 | 2 調査事由 | 学校増改築工事 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成20年9月25日～12月26日 |
| 5 調査面積 | 2,480㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 鈴木賢治 |
- 7 検出中の遺構 縄文時代堅穴住居跡13棟、土坑51基、柱穴271口
- 8 出土遺物 縄文土器・石器
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西部、東流する平石川（御所湖）の南岸の段丘上に立地。調査区は昭和26年（1951）の繫小学校（当時）の校庭整地工事の際に発見された重要文化財の「深鉢形土器7個体」（伏罨）の出土地点に隣接する。「伏罨」は堅穴住居の床面下部に深鉢形土器を逆位に埋納した特殊な遺構で、今次調査（年度末現在）では縄文時代中期中葉～後期の堅穴住居跡13棟を確認。うち2棟から伏罨5個体が検出されている。



繫V遺跡第36次調査区位置図



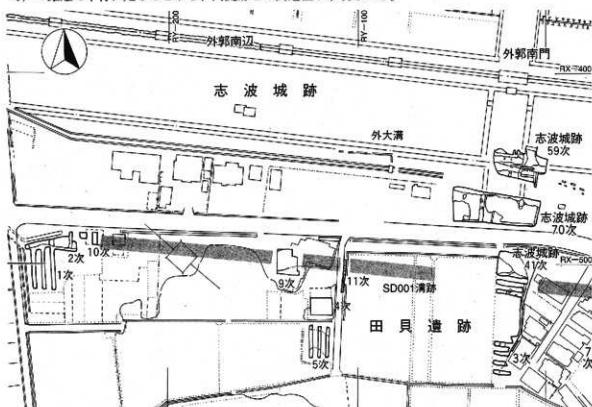
「伏罨」の出土状況

(2) 田貝遺跡第11次調査

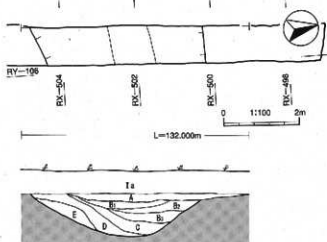
- 1 調査地 盛岡市上鹿妻田貝59-2ほか
- 2 調査事由 下水道污水管敷設工事
- 3 調査方法 本調査
- 4 調査期間 平成20年10月9日
- 5 調査面積 17㎡
- 6 調査員 菊地幸裕
- 7 検出遺構 溝跡1条 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西部、北上川と雫石川によって形成された沖積段丘面に立地。南北方向の道路敷内の調査区から上端部幅4.4m、基底部幅1.1m、深さ1.0mのSD001溝跡を検出。平成13年度に西側宅地で実施された第9次調査でも同規模の遺構を確認しており、隣接する志波城外郭築地ラインから108m（1町）の距離で平行に走ることから、同史跡との関連性が吟味される。



田貝遺跡第11次調査区位置図



第3図 田貝遺跡と志波城跡 (S=1:2,000)



第4図 田貝遺跡SD001溝跡

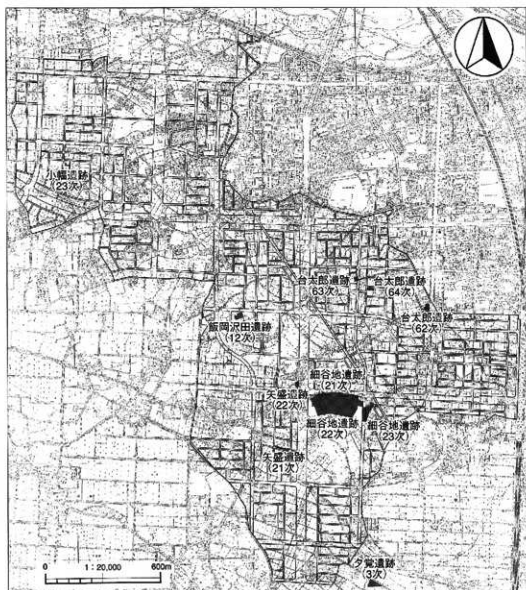


調査区全景

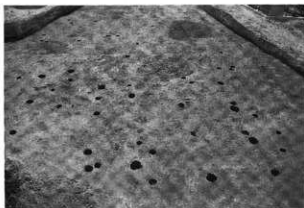
○公共事業関連(盛岡南新都市開発整備事業)

- (1) 盛南地区遺跡群 — 細谷地遺跡第21～23次調査、小幡遺跡第23次調査、飯岡沢田遺跡第12次調査、矢盛遺跡第21・22次調査、台太郎遺跡第62～64次調査、夕覚遺跡第3・4次調査 —

盛岡南新都市開発整備事業(盛南開発)等の大規模区画整理事業に伴うもので、6遺跡12件の調査を実施した。遺跡群は北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地。段丘の基本層序は基底部が水成砂礫層、上部に水成シルト層～表土となっているが、シルト層は旧河道のみならず微高地にも堆積しており、定まらない雫石川の複雑な河道変遷を示しており、古代集落は微高地に多く分布する。台太郎遺跡は事業区内最大規模の奈良・平安時代の大集落跡で、今までに約600棟の住居跡を検出している。第63次調査では、奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟と中世以降の大溝跡、さらに大溝跡の埋土中で土坑墓を検出しており、時期差も認められる。第62・64次調査区は遺跡南東部に位置するが、遺構は時期不詳の土坑と小ピット群を確認している。細谷地遺跡は事業区内の南南部、北に向中野館遺跡が隣接、北西に飯岡才川遺跡、南西に矢盛遺跡、南東に南仙北遺跡が位置する。第21～24次調査では表土下のシルト層にて検出作業を行い、土坑・溝跡等を確認しているが、時期



第5図 平成20年度 盛南地区発掘調査位置図



台太郎遺跡 第62次調査区全景



台太郎遺跡 第63次調査区全景

を特定するには至っていない。矢盛遺跡第21次調査では調査区東側に集中して溝跡2条、小ピット11口、第22次調査でも土坑3基を検出したが、時期を特定できる遺物等は伴出されていない。飯岡沢田遺跡は北西に野古A遺跡、東に台太郎遺跡、南に飯岡才川遺跡が囲む形で位置している。第12次調査では調査区中央部を横断ないしそれに直行する溝跡3条及び小ピット群が検出されているが、伴出遺物はなく、時期を特定するには至っていない。

○民間開発関連

(1) みたけ遺跡第1次調査

- | | |
|---|------------------------|
| 1 調査地 盛岡市みたけ2丁目469-1ほか | 2 調査事由 土地売買に係る事前緊急調査 |
| 3 調査方法 本調査 | 4 調査期間 平成20年4月14日～6月5日 |
| 5 調査面積 2,300㎡ | 6 調査員 佐々木亮二 |
| 7 検出遺構 縄文時代陥し穴5基、縄文早期～前期の遺物包含層、炭窯状遺構（近現代）1基 | |
| 8 出土遺物 縄文時代早期～前期の土器・石器 | |
| 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、I G R野川駅の西側に位置。岩手山・駒ヶ岳を噴出起源とする火山灰砂台地上に立地。現況は牧草地で、計画される宅地造成の事前協議に伴い、平成18年11月にトレンチによる試掘調査を実施。縄文時代の上坑と遺物包含層を確認し、本調査に移行した。検出された土坑は調査区中央から北半部で確認され、縄文時代中期～晩期に属する。遺物包含層は北東部の平地面から確認され、縄文時代早期中葉の沈線・貝殻文系土器群と前期初頭の繊維土器が検出されている（平成20年12月調査報告書刊行済み）。 | |



みたけ遺跡第1次調査区位置図



調査区全景

(2) 上堂頭遺跡第8次調査

- | | | | |
|--------|---------------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市上堂4丁目8-1ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成20年10月7日～10月9日 |
| 5 調査面積 | 394㎡ | 6 調査員 | 室野秀文 |
| 7 確認遺構 | 縄文時代の土坑13基（プラン確認のみ） | 8 出土遺物 | なし |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西北部、北上川右岸の火山灰砂台地の緩斜面に立地。現況は果樹園で、計画される宅地造成の事前協議に伴い、トレンチによる試掘調査を実施。対象予定地の中央～南半部にかけて、縄文時代の陥し穴状遺構と考えられる長楕円形と円形の土坑群を確認した（検出作業のみ）。



上堂頭遺跡第8次調査区位置図



調査トレンチ

○個人住宅建築等

(1) 繁V遺跡第35次調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市繁字館市75-1 | 2 調査事由 | 住宅敷地擁壁工事 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成20年5月13日～5月28日 |
| 5 調査面積 | 16㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 鈴木賢治 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代早期～中期の遺物包含層 | 8 出土遺物 | 縄文土器 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西部、東流する半石川（御所湖）の南岸の段丘上に立地。縄文時代中期中葉の大規模集落跡が位置する舌状台地の南東端部の傾斜面にあり、縄文時代早期から中期に至る時期の遺物包含層が確認され、特に下層部から同遺跡でも出土例の少ない前期の土器群を検出した。



繁V遺跡第35次調査区位置図



調査区全景

(2) 大新町遺跡第80次調査

- | | | | |
|--------|---------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大新町17-15 | 2 調査事由 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成20年6月2日～6月4日 |
| 5 調査面積 | 32㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 鈴木賢治 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代陥し穴状遺構 1基 | 8 出土遺物 | 縄文土器 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、平石川北岸の火山灰砂台地上に立地。調査区は草創期～早期の遺物を出上する同遺跡の南半部から約80m北側の舌状台地基部に位置し、北西コーナーから縄文時代の陥し穴状遺構を検出した。遺物は前期の上器破片で、南半部の時期とは異なり、また遺構のあり方から、西隣する中期の集落跡大館町遺跡との関連性が考えられる。



大新町遺跡第80次調査区位置図



調査区全景

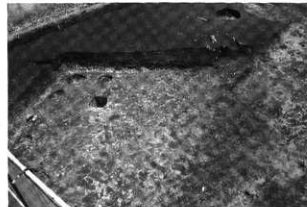
(3) 山王山遺跡第12次調査

- | | | | |
|--------|--------------|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市山王町64-1 | 2 調査事由 | 個人住宅新築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成20年7月15日～9月3日 |
| 5 調査面積 | 164㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二 |
| 7 検出遺構 | 平安時代竪穴住居跡 3棟 | 8 出土遺物 | 土師器・須恵器・鉄鎌 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地東部、盛岡バイパスの西側法面に位置しているが、旧地形では北上川左岸、小起伏山地から迫り出した丘陵地の沢筋緩斜面に立地。丘陵頂上部には縄文時代中期の集落跡が確認されており、また周辺部の緩斜面からは縄文時代早期の遺物包含層並びに奈良・平安時代の集落跡も複合して確認されている。

今次調査内は耕作による削平が著しく、遺構の全貌を確認することはできなかったが、大量の炭化材を出土する焼失家屋と考えられる住居跡が検出された。



山王山遺跡第12次調査区位置図



検出された竪穴住居跡

(4) 百目木遺跡第29次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳第5地割41-9 | 2 調査事由 | 個人住宅新築 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～遺構保護措置 | 4 調査期間 | 平成20年8月29日 |
| 5 調査面積 | 57㎡ | 6 調査員 | 室野秀文 |
- 7 確認遺構 平安時代竪穴住居跡2棟、近世以降の竪穴状遺構1基
 8 出土遺物 須恵器大甕、あかやき土器、土師器
 9 調査概要 遺跡は市街地の南部、北上川右岸の自然堤防上(低位段丘)に立地。昭和53年に大規模小売店舗建設に伴い実施された発掘調査で、奈良・平安時代の人集落跡を発見。隣接する住宅地周辺でも調査は継続実施されており、今次、検出された竪穴住居跡は調査区内北側・南側の2地点で約3m方形のプランを確認したが、検出にとどめ精査はせず、盛土保存措置を講じた。



百目木遺跡第29次調査区位置図



調査トレンチ

(5) 国指定史跡志波城跡第101次調査

- | | | | |
|--------|--------------|--------|----------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下太田宮田14-2 | 2 調査事由 | 史跡内の現状変更(個人住宅新築)に係る事前の確認調査 |
| 3 調査方法 | 変更申請地内の全面調査 | 4 調査期間 | 平成20年9月8日～9月19日 |
| 5 調査面積 | 126㎡ | 6 調査員 | 室野秀文 |
- 7 検出遺構 平安時代の土坑1基、中世以降の溝跡2条、土坑1基、柱穴5口
 8 出土遺物 土坑から9世紀の土師器甕破片とあかやき土器破片が出土。
 9 調査概要 国指定史跡志波城跡内北東部の宮田地区における個人住宅建築の現状変更に係る遺構確認調査として実施。調査区内からは平安時代初頭の土坑1基、調査区中央を東西方向に横断する中世以降の溝跡とそれと交差する南北方向の溝跡2条、土坑・柱穴などを検出。



志波城跡第101次調査区位置図



調査区全景

(6) 大館町遺跡第82次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大新町10-13ほか | 2 調査事由 | 個人住宅新築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成20年10月15日～10月31日 |
| 5 調査面積 | 62㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の陥し穴状遺構6基、貯蔵穴5基、土器埋設炉2基 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文時代の土器・石器 | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地の北西部、幸石川北岸の火山灰砂台地に立地。調査区は遺跡北西部の緩斜面に位置し、表土以下堆積土の大半は削平を受けるも、下部の火山灰層面で陥し穴状遺構及び貯蔵穴と考えられる土坑群等の遺構を確認。検出遺構から推察すると、同遺跡の住居区域縁部の貯蔵区域ないし狩猟場的性格を持つ地域と考えられる。 | | |



大館町遺跡第82次調査区位置図



調査区全景

(7) 西鹿渡遺跡第22次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳第2地割16-35 | 2 調査事由 | 個人住宅新築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成20年3月18日 |
| 5 調査面積 | 77㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二 |
| 7 確認遺構 | 平安時代竪穴住居跡3棟、土坑1基 | | |
| 8 出土遺物 | 平安時代の土器 | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地の南部、北上川右岸の自然堤防上（低位段丘）に立地し、古代の大規模集落跡が確認された百目木遺跡の北部に位置する。建築予定地内に東西方向3本、南北方向3本のトレンチを設定し、検出作業を行い、中央部と東寄りから竪穴住居跡、北寄りのトレンチから土坑の存在を示すプランを確認した（建築箇所の本調査は平成21年度実施）。 | | |



西鹿渡遺跡第22次調査区位置図



調査区全景（試掘調査状況）

報告書抄録

ふりがな		所在地		コード		北緯		東経		調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
書名	著者名	編者名	所在地	市町村	遺跡番号	(世界遺産系)						
<p>ふりがな: もりわかしいせきのまなびかん せいせい20ねんご かんぽう</p> <p>書名: 盛岡市遺跡の学び館 平成20年度 館報</p> <p>著者名: 佐藤利男 室野秀文 菊地幸裕 津嶋知弘 柳原雄一 松々木亮二 鈴木賢治 浅沼のぞみ</p> <p>編者名: 盛岡市遺跡の学び館</p> <p>所在地: 〒020 0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 TEL. 019-635 6600</p> <p>発行年月日: 2010年3月26日</p>												
大館町遺跡 (81・82次)	03201	39° 42' 48"	141° 07' 03"	(81次) 2008.6.10~ 2008.11.28 (82次) 2008.10.15~ 2008.10.31	(81次) 330 (82次) 62	(81次) 史跡内葬塚誌 (82次) 個人住宅建築						
志波城跡 (101次) (102次)	03201	39° 41' 18"	141° 06' 44"	(101次) 2008.9.8~ 2008.9.19 (102次) 2008.10.14~ 2008.11.21	(101次) 126 (102次) 1,780	(101次) 個人住宅建築 (102次) 史跡整備に係る 遺構内容確認						
盛南地区遺跡群	03201	39° 40' 53"	141° 08' 18"	2008.4.22~ 2009.1.15	37,492	土地区画整理						
紫V遺跡 (35次) (36次)	03201	39° 40' 26"	141° 01' 08"	(35次) 2008.5.13~ 2008.5.28 (36次) 2008.9.25~ 2008.12.26	(35次) 16 (36次) 2,480	(35次) 宅地掘削工事 (36次) 学校校舎増築 工事						
田尻遺跡 (11次)	03201	39° 40' 54"	141° 06' 15"	2008.10.9	17	下水道工事						
みたけ遺跡 (1次)	03201	39° 42' 28"	141° 11' 13"	2008.4.14~ 2008.6.5	2,300	土地売買						
上堂塚遺跡 (8次)	03201	39° 43' 48"	141° 07' 30"	2008.10.7~ 2008.10.9	394	宅地造成						
大新町遺跡 (80次)	03201	39° 42' 43"	141° 07' 08"	2008.6.2~ 2008.6.4	32	個人住宅建築						
山王山遺跡 (12次)	03201	39° 41' 54"	141° 09' 59"	2008.7.15~ 2008.9.3	164	個人住宅建築						
百目日本遺跡 (29次)	03201	39° 39' 37"	141° 09' 46"	2008.8.29	67	個人住宅建築						
西渡遺跡 (22次)	03201	39° 39' 52"	141° 09' 49"	2008.3.18	77	個人住宅建築						
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項							
大館町遺跡 (81次)	集落	縄文時代中期	縄文時代中期竪穴住居跡10棟、土坑跡78基、古代以降の溝跡1条	縄文土器・石器・土製品								
志波城跡 (102次)	城跡	平安時代	A区東首領塚; 近世以降の溝跡1条、溝状遺構1基、B区政庁北前; 平安時代の竪穴遺構物跡1基、土坑2基	平安時代の須恵器片・土師器片ほか(コンクリート1積)								
盛南地区遺跡群	集落	奈良・平安時代~ 中・近世	竪穴住居跡、竪穴伏遺構、溝跡、土坑、ピットなど	土師器、須恵器、あかやき土器、陶磁器、古銭								
紫V遺跡 (36次)	集落	縄文時代中期	縄文時代竪穴住居跡13棟、土坑5基、柱穴271ヵ所など	縄文土器・石器	※21年度 継続調査							
田尻遺跡 (11次)	集落	古代	志波城跡関連溝跡1条	出土遺物なし								
みたけ遺跡 (1次)	特異墳	縄文時代	縄文時代陥し六状遺構5基、縄文早期~前期の遺物を含む、近現代の仮家状遺構1基	縄文時代早期~前期の上層・石器								
上堂塚遺跡 (8次)	特異墳	縄文時代	縄文時代土坑13基	出土遺物なし								
紫V遺跡 (35次)	集落	縄文時代早期~前期	縄文時代遺物包舎跡(早期・前期)	縄文土器・石器								
大新町遺跡 (80次)	集落	縄文時代	縄文時代陥し六状遺構1基	縄文土器								
山王山遺跡 (12次)	集落	平安時代	平安時代竪穴住居跡3棟	土師器、須恵器・鉄器								
百目日本遺跡 (29次)	集落	平安時代	平安時代竪穴住居跡2棟、近世以降の竪穴状遺構1基	須恵器土器、あかやき土器、土師器	遺構保護措置							
志波城跡 (101次)	城跡	平安時代	平安時代の土坑1基、中世以降の溝跡2条、土坑1基、柱穴5ヵ所	土師器製磁片・あかやき土器杯破片	遺構確認調査							
大館町遺跡 (82次)	集落	縄文時代中期	縄文時代陥し六状遺構6基、土坑5基、土器埋設跡2基	縄文土器・石器								
西渡遺跡 (22次)	集落	平安時代	平安時代の竪穴住居跡3棟、土坑1基	平安時代の上層	※21年度調査							

盛岡市遺跡の学び館 平成20年度 館報

2010年3月26日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号

電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605

E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp

URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html>

印刷 株式会社 阿部印刷

〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町2番2号

電話 019-624-2242